

漢字ガイド

中学校編

本書の特色

●学習する漢字

- ・ 中学配当の常用漢字九三九字（二〇一〇年に常用漢字表から削除された五字を含む）。
- ・ 入試で頻出する小学四～六年配当の教育漢字二六一字。
- ・ これら一二〇〇字を各回二〇字ずつ計六〇回ですべて学習。
- ・ さらに、二〇一〇年に加わった常用漢字一九六字も学習。

●構成

- ・ 第1～4部（漢字表とチェックテストで一二〇〇字を網羅）

■漢字表

- ・ 漢字とその部首、総画数、読み、用例から構成。
- ・ 音読みをカタカナ、訓読みをひらがなで表記。
- ・ 中学校までに習わない読みは（ ）で表記。
- ・ 小学配当漢字は★マークで示し、小学四～六年配当の漢字で入試に頻出のものを選定して掲載。
- ・ 下段には、入試で頻出の言語事項を掲載。
- ・ 常用漢字表から削除された五字は(削)で示す。

■チェックテスト

漢字表で学んだ内容に対応する書き取り問題で実践。
□のチェック欄を活用し、知識の定着を図る。

- ・ 第5・6部（第1～4部で学んだ漢字すべての復習）

■第1～4部で学んだ漢字のすべてについて、書き取り問題、または読み取り問題で完全復習。

- ・ さくいん……第1～4部の一覧表で学習した漢字を音読み、もしくは訓読みから引けるように構成。

- ・ 解答……第1～6部の各回の解答をまとめて掲載。

・ 第7部

■漢字表

■チェックテスト

- ・ 二〇一〇年に常用漢字表に加わった一九六字を、第1～4部と同様に学習。
- ・ 漢字表の下段では、中学配当の常用漢字表「付表の語」を掲載。

・ 第8部

■第7部の漢字の、書き取り問題・読み取り問題による復習。

- ・ さくいん……第7部で学習した漢字のさくいん。

- ・ 解答……第7・8部の各回の解答をまとめて掲載。

もくじ

第1部	……	3
第2部	……	33
第3部	……	63
第4部	……	93
第5部	……	123
第6部	……	131
第1～4部さくいん	……	139
第1～6部解答	……	142
第7部	……	147
第8部	……	167
第7部さくいん	……	170
第7・8部解答	……	171
◆付録◆主な部首	……	172

漢字	部	画	読み	用例
凄	冫	10	セイ	凄惨 ひどくいたましく、みじめに感じる こと。 凄絶 たとえようもないくらいすさまじい様子。
冥	冫	10	(メイ) (ミヨウ)	冥土 死んだ人の魂が行く世界。 (冥利) 知らないうちに受けている恩恵。
侶	亻	9	リョ	僧侶 僧。出家者。 伴侶 一緒に連れ立つ者。配偶者。
傲	亻	13	ゴウ	傲岸 気位が高く、人にへりくだらない様子。 傲慢 おごりたかぶって、人を見下す様子。
僅	亻	13	キン わずか	僅差 ごく小さな差。 僅か ほんの少し。やっと。
伎	亻	6	キ	歌舞伎 江戸時代に発達した、日本独自の演劇。
俺	亻	10	おれ	俺 一人称の代名詞。
乞	乙	3	こう	乞う いいにくそうにねだる。
丼	丶	5	どんぶり	丼 どんぶりばち。また、どんぶりばちに飯と種をのせた料理。
串	丨	7	くし	串 さし通すために使う、鉄・竹などで作った細長い棒。

漢字	部	画	読み	用例
喉	口	12	コウ のど	喉頭 のどぼとけ。 喉 口の奥にあつて、食道・気道に通じる部分。
嗅	口	13	キユウ かぐ	嗅覚 においに反応する感覚。 嗅ぐ 鼻でにおいを感じる。隠されたものごとを感じる。
唄	口	10	うた	長唄 三味線の伴奏による声楽の一つ。 小唄 三味線の伴奏に合わせてうたう伝統的歌謡。
咽	口	9	イン	咽喉 口の開けると、一番奥に見える部分。 咽 喉のど。
匂	勹	4	におう	匂う においを鼻に感じること。
勾	勹	4	コウ	勾留 拘留場に留め置かれる刑罰。 勾配 斜面の傾斜する割合。または、斜面のこと。
勃	力	9	ボツ	勃興 急に勢いを得て盛んになること。 勃発 事件などがとつぜん起こること。
剝	リ	10	はく はがす はがれる	剝製 鳥やけもの肉や内臓をとって、もとの姿のようにした標本。 剝奪 無理に奪うこと。
刹	リ	8	(サツ) セツ	(古刹) 古くて由緒のある寺。 (名刹) 名高い寺。 刹那 さわめて短い時間。一瞬。
冶	冫	7	ヤ	陶冶 才能、素質などを育て上げること。 冶金 鉱石を溶かして金属を取り出し、精製加工すること。

常用漢字表
付表の語

- 小豆 (あずき)
赤飯や、あんこの材料となる豆。色は暗い赤色。
- ▼ 小豆でお手玉を作った。
- 硫黄 (いおう)
火山などに見られる黄色い元素。火薬や農薬の材料に使われる。
- ▼ この温泉には硫黄が含まれている。
- 意気地 (いくじ)
物事をやり通そうとする気持ち。他人に負けまいとする気力。
- ▼ 友人に意気地なしと言われた。
- 田舎 (いなか)
都会から離れた地方。人家の少ないところ。生まれ育った場所。
- ▼ 田舎は自然が豊かだ。
- 海原 (うなばら)
広々とした海・海面。
- ▼ 窓の外には青海原が広がっていた。
- 乳母 (うば)
母親の代わりに子どもに乳を与えて養育する女性。
- ▼ 彼女は乳母だ。

1 漢字の書きとり

★ 線を引いたカタカナを漢字になおしなさい。

- ① 団子をクシから外した。
- ② 昼食は親子ドンだった。
- ③ お金を借りたいとコウた。
- ④ オレの自転車はあそこにあるよ。
- ⑤ 祖母はカブキが好きだ。
- ⑥ 二位とキンサで当選した。
- ⑦ 彼女の態度はゴウマンだった。
- ⑧ ソウリヨになるための修行。
- ⑨ 山中でメイソウにふける。
- ⑩ セイサンな様子の事件現場。
- ⑪ 人格をトウヤする。
- ⑫ 新しい国家がボッコウする。
- ⑬ 出場資格をハクダツされた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ⑭ 民族紛争がポツパツした。
- ⑮ キュウコウバイの斜面をのぼる。
- ⑯ その部屋からはガスがニオった。
- ⑰ 耳鼻インコウ科のお医者さん。
- ⑱ 祖母はナガウタのお師匠さんだ。
- ⑲ 犬はキュウカクが優れている。
- ⑳ 声を出しすぎてノドが痛い。
- ㉑ 勝敗の差はワズかなものだった。
- ㉒ 祖父がメイドのみやげだと言った。
- ㉓ 一瞬のことをセツナと言う。
- ㉔ シールをハがした。
- ㉕ 新しい国家がボッコウした。
- ㉖ 嫌なにおいをカいでしまった。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

常用漢字表 付表の語

・ 線を引いたカタカナを漢字に直し、送りがなはひらがなで書きなさい。

- ① アズキを煮てあんこを作る。 []
- ② この温泉はイオウのにおいがする。 []
- ③ 私は子どものころからイクジなした。 []
- ④ 都会からイナカに転勤する。 []
- ⑤ 岬からウナバラを見下ろす。 []
- ⑥ お年寄りがウバ車を押して歩く。 []